

清平山堂刊行の小説をめぐって : 内閣文庫蔵本の版式および刻字の状況から

中里見, 敬
九州大学大学院言語文化研究院 : 准教授 : 中国文学

<http://hdl.handle.net/2324/5408>

出版情報 : 2007-05-13
バージョン : accepted
権利関係 :



清平山堂刊行の小説をめぐって
——内閣文庫蔵本の版式および刻字の状況から——

中里見 敬

明・嘉靖年間に杭州で洪楩の清平山堂によって刊行された小説のうち現存する二十九篇。

1. 日本 国立公文書館内閣文庫蔵 清平山堂話本十五篇
影印本：『清平山堂話本』（北平：古今小品書籍印行会，1929）
『古本小説集成』（上海：上海古籍出版社，1990）
2. 中国 北京大学図書館蔵 天一閣旧蔵「雨窗集」「欵枕集」十二篇
影印本：『雨窗欵枕集』（北平：平妖堂，1934）
3. 中国 国家図書館 阿英発見残本二篇
参考：阿英「記嘉靖本翡翠軒及梅杏争春：新發現的『清平山堂話本』二種」（『小説閑談』上海：良友図書印刷公司，1936；上海：上海古籍出版社，1985）
阿部泰記「『翡翠軒』残本考」（『中国文学論集』14，1985）

長澤規矩也「京本通俗小説と清平山堂」（『東洋学報』17，東京：東洋協会調査部，1928-29）

清平山堂残存三本、一見嘉靖板か、晩くも万曆初年の刊本らしい。紙質も三本を通じて一様に其頃のものらしい白紙であるが、三本十五篇の各板式は一様でなく、概して略字は多いが、篇によって字体に多少の差がある。四周単辺、有界、現在の第一本の首の柳耆卿詩酒翫江樓記の第一葉で計って、匡郭内凡そ五寸五分に四寸、字詰は毎半葉十一行、毎行二十一二字である。

実は此本には、外題や見返は固よりのこと、序跋も目次もなく、従って編者も總目も知れず、正しい編次も明でない。（中略）即ち清平山堂の四字は此本の版心上部に見えてゐるが、十五篇中の四篇には全然見えない。

陳正宏・梁穎『古籍印本鑑定概説』（上海：上海辞書出版社，2005）「書版的拼湊刷印及其相關問題」

所谓书版拼湊刷印，是指书商因牟利的需要，将已经刷印过的几部不同的书籍的残存旧版略加修整，拼成一部表面上有统一书名又卷帙完整的新书，重新刷印发售。此类情形在元代刊印的书籍中已有出现，在明代后期的刻本中更不乏其例。

いわゆる「版木を寄せ集めて印刷する」とは、書賈が営利の必要から、すでに印刷されたことのある数部の異なる書籍の残存旧版に補修を施し、寄せ集めたうえで、表面上は書名が統一され巻帙の整った新書として、新たに印刷して発売したものを指す。こうした現象は、元代に刊行された書籍にすでに見られ、明代後期の刻本では例に事欠かない。

表1 清平山堂所刊小説 版式一覽表

	開頭版面	版 心		卷尾	行款	版 匡		存佚葉數	
		堂名	魚尾			篇名	高		寬
1	柳耆卿詩酒斝江樓記 □□□□入話	清平山堂	無	江樓記	柳耆卿詩酒斝江樓記終	11行21字	16.5	12.0	共四葉
2	簡帖和尚□□亦名胡姑ヒ□又名錯下書 □□公案傳奇 □□入話□鶴鵝天	清平山堂	無	簡帖和尚 (東帖和尚)		11行22字	16.7	12.0	共十三葉
3	西湖三塔記□□入話 □□□□湖光激灑晴偏好□□山色瀟灑……	無	無	三塔記	三塔記終	11行22字	16.0~ 16.4	11.7	共十葉
4	合同文字記 □□□□□□入話	清平山堂	無	合同文字記	合同文字記終	11行21字	16.5	12.1	共六葉
5	風月瑞仙亭□□入話 □□□□夜靜瑤臺月正圓□清風浙瀝……	無	單白魚尾	風月瑞仙亭記	缺	10行24字至25字 (第2葉のみ行25字)	17.6	11.6	殘, 存六葉(1~6) 尾缺
6	藍橋記 □□□□入話	清平山堂	無	藍橋記	藍橋記終	11行21字	16.8	12.1	共三葉
7	快嘴李翠蓮記 □□入話	清平山堂	無	李翠蓮	新編小説快嘴媳婦李翠蓮記終	11行22字	16.5	12.0	共十六葉
8	洛陽三侏記 □盡日尋春不見春□杖梨槩破嶺頭雲	無	單白魚尾	三侏記	洛陽三侏記卷終	10行24字	17.7	11.5	共十葉
9	風月相思□□入話 □□□□深院鶯花春晝長□風前月下……	無	無	風月相思	風月相思記終	11行22字	16.1	12.1	共十二葉
10	張子房慕道記 □□入話	清平山堂	無	張子房	小説張子房慕道記終	11行22字	16.6	12.0	共九葉
11	陰陽積善 □□入話	清平山堂	無	陰陽積善	▲▲▲▲陰陽積善終	11行22字	16.7	12.0	共五葉
12	陳巡檢梅嶺失妻記 □□入話	清平山堂	無	陳巡檢	新編小説陳巡檢梅嶺失妻記終	11行22字	16.4	12.1	共十三葉
13	五戒禪師私紅蓮記 □□入話	清平山堂	無	蓮記	新編小説五戒禪師私紅蓮記終	11行22字	16.4	12.0	共九葉
14	刎頭鴛鴦會一名三送命一名冤報冤 □□入話	清平山堂	無	刎頭兇央	新編小説刎頭鴛鴦會卷之終	11行22字	16.6	12.0	共十二葉
15	楊温攔路虎傳 □□入話	清平山堂	無	楊温	新編小説攔路虎楊温傳終	11行22字	16.4	12.1	共十六葉

参考：「雨窗欹枕集」

16	花燈轎蓮女成佛記 □□□□□□入話	清平山堂	無	(花燈轎)	花燈轎蓮女成佛記終	11行21字			共十三葉
17	曹伯明錯勘賊記 □□□□□□入話	清平山堂	無	(錯勘賊記)	小説曹伯明錯勘賊終	11行21字			共五葉
18	錯認屍 □□入話	無	無	錯認尸	小説錯認尸終	11行21字			共十八葉 (第3葉重複)
19	董永遇仙傳 □□入話	清平山堂 (1~6葉無)	無	遇仙傳	董永傳終	11行22字			共十葉
20	戒指兒記 □□入話	清平山堂	無	戒指兒	缺	11行22字			殘, 存十三葉(1~13) 尾缺
21	缺	清平山堂 (4,6葉無)	無	羊角	缺	11行22字			殘, 存三葉(4~6) 首尾缺
22	缺	清平山堂 (4~6葉無)	無	范張	死生交范張鷄黍卷終	11行22字			殘, 存四葉(4~7) 首缺
23	缺	無	無	老馮	老馮唐直諫漢文帝終	11行22字			殘, 存七葉(2~8) 首缺
24	漢李廣世號飛將軍 □入話	無	無	李廣世		11行22字			共六葉
25	夔閱姚下弔諸葛 □□入話	清平山堂 (1,3,5~8葉無)	無	姚下	夔閱姚下弔諸葛終	11行22字			共八葉
26	霽川蕭琛貽霸王 □□入話	清平山堂	無	蕭琛	霽川蕭琛貽霸王卷終	11行22字			共九葉
27	李元吳江救朱蛇 □□入話	無	無	李元	缺	11行22字			殘, 存八葉(1~8) 尾缺

表 2 版式分類表

	版 心		行 款	版 匡 (cm)	
	堂名	魚尾		高	寬

A類

2簡帖和尚	清平山堂	無	11行22字	16.7	12.0
7李翠蓮	清平山堂	無	11行22字	16.5	12.0
10張子房	清平山堂	無	11行22字	16.6	12.0
11陰騭積善	清平山堂	無	11行22字	16.7	12.0
12陳巡檢	清平山堂	無	11行22字	16.4	12.1
13紅蓮記	清平山堂	無	11行22字	16.4	12.0
14勿頸鴛鴦	清平山堂	無	11行22字	16.6	12.0
15楊温	清平山堂	無	11行22字	16.4	12.1

B類

1江樓記	清平山堂	無	11行21字	16.5	12.0
4合同文字記	清平山堂	無	11行21字	16.5	12.1
6藍橋記	清平山堂	無	11行21字	16.8	12.1

C類

3三塔記	無	無	11行22字	16.0~16.4	11.7
9風月相思	無	無	11行22字	16.1	12.1

D類

5風月瑞仙亭	無	單白魚尾	10行24字至25字	17.6	11.6
8三怪記	無	單白魚尾	10行24字	17.7	11.5

参考：「雨窗欹枕集」

16花燈轎	清平山堂	無	11行21字		
17錯勘賊記	清平山堂	無	11行21字		
18錯認屍		無	11行21字		
19遇仙伝	清平山堂	無	11行22字		
20戒指児	清平山堂	無	11行22字		
21羊角	清平山堂	無	11行22字		
22范張	清平山堂	無	11行22字		
23老馮		無	11行22字		
24李廣世		無	11行22字		
25姚卞	清平山堂	無	11行22字		
26蕭琛	清平山堂	無	11行22字		
27李元		無	11行22字		

書影 1 A類より「7快嘴李翠蓮記」篇尾／篇首

家何但明音寺散且又逍遙却不到伶俐
不亦榮華富貴 一心情愿出家
身披一領錦袈裟 常把數珠懸掛
每日持齋把素 終朝酌水獻花
縱然不做得菩薩 脩得个小佛兒也罷

新編小説快嘴媳婦李翠蓮記終

快嘴李翠蓮記
入話
出口成章不可輕 開言作對動人情
雖無子路才能智 單取人前一笑聲
此四句單道昔日東京有一員外姓張名俊家中頗有金
銀所生二子長曰張虎次曰張狼次子已有妻室次子尙
未婚配本處有个李吉員外所生一女小字翠蓮年方二
八姿容出衆女紅針指書史百家無所不通只是口嘴快
些凡向人前說成篇道成瀆問一答十問十道百有詩爲
證
問一答千古來難 問十答百豈非凡

書影 2 B類より「4合同文字記」篇尾／篇首

李社長不悔婚姻事 劉晚妻欲損權公嗣
劉安住孝義兩双全 包待制斷合同文字
話本說徹權作散場

合同文字記終

合同文字記
入話
喫食少添鹽醋 不是去處休去
要人知重勤學 怕人知事莫做
話說宋仁宗朝慶曆年間去這東京汴梁城離城三十
里有箇村喚做老兒村村裡有箇農庄人家弟兄二人
姓劉哥哥名劉添祥年四十歲妻已故兄弟名劉添瑞
年三十五歲妻田氏年三十歲生得一個孩兒叫名安
住年三歲弟兄專靠耕田種地度日其年因為旱澇不
收一日添瑞向哥哥道看這田禾不收如何過日不若
我們搬去路州高平縣下馬村投奔我姨夫張學究處

書影 3 C類より「3西湖三塔記」篇尾／篇首

俗出家百年而終
只因湖内生三怪 至使真人到此間
今日捉來藏篋內 萬年千載得平安

三塔記終

西湖三塔記 入話
湖光瀲灩晴偏好 山色溟濛雨亦奇
若把西湖比西子 淡粧濃抹也相宜
此詩乃蘇子瞻所作單題西湖好處言不盡意又作一詞詞
名眼兒媚
登樓凝望酒闌與客論征途繞君看尽名山勝景難比
西湖春晴夏雨秋霜后冬雪一泓湖光四邊山色天下
應无說不尽西湖好處吟有一詞云
江左昔時雄勝錢塘自古榮華不惟往日風光且看西
湖景物有一千頃碧澄澄波漾瑤瑤有三十里青娜
峯峦翡翠春風郊野淺桃深杏如粧夏日湖中綠蓋紅

書影 4 D類より「8洛陽三怪記」篇尾／篇首

洛陽三怪記
大王是条赤斑蛇王蕊娘娘是箇白狐精神將打死了妖怪一
陣風自去了潘真外拜謝了將真人徐守真自去了話名叫做
洛陽三怪記

洛陽三怪記卷終

洛陽三怪記
盡日尋春不見春 杖屨架破嶺頭雲 歸來點檢梅梢看
春在枝頭已十分
這四句探春詩是張元所作東坡先生有一首探春詞名柳梢
青却又好詞曰 昨日出東城試探春墻頭紅杏暗如傾檻內
群芳芽未吐草已回春綺陌飲香塵點雲瀟前村東君着意
不辭辛料想風光到處吹綻梅英
這一年四季無過是春天最好景致日謂之麗日風謂之和風
吹柳眼綻花心拂香塵天色暖謂之暄天色冷謂之料峭騎的
馬謂之寶馬坐的轎謂之香車行的路謂之香徑地下飛起土

表 3 補刻およびその他の特殊刻字

	補刻字数	小字箇所	墨丁字数	空白字数	重複記号
--	------	------	------	------	------

A類

2簡帖和尚	1	1	0	0	七
7李翠蓮	1	0	2	0	七
10張子房	0	0	0	0	七
11陰騰積善	0	0	3	0	七
12陳巡檢	0	0	1	0	七
13紅蓮記	0	0	1	0	七
14勿頸鴛鴦	0	0	1	0	七
15楊温	0	0	6	0	七

B類

1江樓記	0	0	0	0	七
4合同文字記	0	0	0	2	七
6藍橋記	1	1	0	0	七

C類

3三塔記	17	3	0	1	<
9風月相思	3	3	0	0	

D類

5風月瑞仙亭	4	6	1	0	
8三怪記	40	9	0	0	

参考:「雨窗欹枕集」

16花燈轆		3	1	0	七
17錯勘賊記		0	0	0	七
18錯認屍		0	4	0	七
19遇仙伝		0	1	0	七
20戒指児		0	2	0	七
21羊角		0	0	0	七
22范張		0	48	92	七
23老馮		0	25	0	七
24李廣世		0	0	0	七
25姚卞		0	0	4	七
26蕭琛		0	1	0	七
27李元		1	0	0	七

書影 5 補刻の例 「3 西湖三塔記」 2葉 a 面 「如」字、および「兩」字

這幾處雖然是真山真水怎比西湖好處假如風起時有
 千尺翻頭浪雨下時有百丈滔天水大雨一箇月不曾見
 滿盞大早三箇月不曾見乾涸但見一鏡波光青激激四
 圍山色翠重重生出石來渾美玉長成草處即灵芝那遊
 人行到亂雲深處所得雞鳴犬吠縹緲布之聲宛然人
 間洞府世上蓬瀛

一派西湖景致奇 青山疊々水泚泚
 隔林紡佛聞機杼 如有人家住翠微

這西湖晨昏晴雨月總相宜清晨登臨目登歛麗一派湖光
 薄暮凭欄渺渺暝暎數重山色遇雪時兩岸樓臺鋪玉屑
 逢月夜滿天星斗漾珠璣巖峯相對峙 分南北二竺依稀隱

書影 6 「3 西湖三塔記」 5葉 b 面~6葉 a 面 補刻以外の箇所の「兩」字

如神仙洞府王者之宮
 雲漢引着奚官替到裏面只見里面一箇着白的婦人
 來迎着宣贊宣贊着眼看那婦人真箇生得
 綠雲堆髮白雪凝膚眼橫秋水之波眉插春山之黛
 淡粧紅臉櫻珠輕点絳唇步鞋襯小小金蓮玉指露
 纖纖春笋

那婦人見了那奴便問漢漢那里尋見我女漢漢便把宣
 贊那奴事一說與婦人婦人便與宣贊叙寒溫分賓
 主而坐兩箇青衣女童安排酒來少頃水陸畢陳怎見得
 瓊隔鐘內珠滴真龍炮鳳玉脂泣羅幃綉幕生香風
 擊起鼙鼓吹童笛當堂盡勸醉扶扁皓齒歌兮細腰舞

正是青春白日暮桃花乱落如紅雨
 當時一盃兩盞酒至三盃奚官替目視婦人生得如花似
 玉心神蕩漾却問婦人姓氏只見一人向前道娘娘今日
 新人到此可換旧人婦人道也是快安排來與宣贊作按
 酒只見兩人力士捉一个後生去了巾帶解開頭髮縛在
 將軍柱上箇前一个銀盆一把尖刀霎時間把刀破開肚
 皮取出心肝呈上娘娘驚得宣贊魂不赴体娘娘斟熱酒
 把心肝請宣贊吃宣贊只推不飲娘娘連連都吃了娘娘
 道難得宣贊救小女一命我今丈夫又无情愿將身嫁與
 宣贊正是

春為花博士 酒是色媒人

書影 7 小字「5風月瑞仙亭」6葉 a面

使登程却說卓王孫听得揚得意舉薦司馬長卿蒙朝廷徵召
 去了自言我女兒有先見之明為見此人才貌俱全必然顯達
 所以成了親事老夫想起來男昏女嫁人之大倫我女婿做官
 我先帶侍女春兒同往成都去望乃是父子之情無人笑我若
 是他得了官時去看他笑人道我趨時極勢次日帶同春兒迳到
 成都府尋見卓文君文君見了父親拜道孩兒有不孝之罪望
 爹爹饒恕冒外道我兒你想殺我今日送春兒來伏侍你孩兒
 你在些家裏比在家耳用不同你不念我年老無人文君曰爹
 爹根前不敢隱諱孩兒見他文章絕代才貌俱全必有榮華之
 日因此上嫁了他卓王孫云如今且喜朝廷徵召正稱孩兒之

書影 8 墨丁「11陰隲積善」3葉 a面

如何肯信再三思量不知於何處去失只得再回沿路店
 中尋討直尋到林上舍所歇之處問店小二時店小二道
 我却不知你失去物事張客道我歇之後有甚人在此房
 中安歇店主人道我便忘了從你去後有个官人來歇一
 夜了絕早便去臨行時分付道有人來尋時可千萬使他
 來京師上庠貫道齋閣林上舍名積張客見說言語蹣蹩
 口中不道心下思量莫是此人收得我之物當日只得離
 了店中迤邐再取京師路見岔路貼着手榜數中有元
 珠之句畧上放心不日一日直到上庠未去歇泊便來尋
 問學對門有个茶坊但見
 花瓶高縛吊掛紙壁間名畫皆則唐朝吳道子丹青

書影 9 重複記号「七」「2簡帖和尚」11葉 a面

已只得依姑口去這官人家裡來逡巡了一年當
 是正月初一日皇用殿直自從休了渾家在家中无好况
 正是 時間風火性 燒了歲寒心
 自思量道每年正月初一日夫妻兩人双双地上本州大
 相國寺裡燒香我今年却独自一个不知我渾家那裡去
 策地兩行淚下閃閃不已只得勉強有一領紫羅衫手裡
 把有銀香盒來大相國寺裡燒香到寺中燒香了恰待出
 寺門只見一个官人領着一个婦女看那官人時粗眉毛
 大眼晴顴鼻子略綽口領首的婦女却便是他渾家當時
 丈夫看有渾家上又觀有丈夫两个四目相視只是不
 敢言語那官人同婦女两个入大相國寺裡去皇甫松在

書影 10 重複記号「く」「3西湖三塔記」2葉 b面

翠微 滿寺僧從天竺去 萱花人向柳陰來
 每遇春間有艷草奇葩朱英紫翠嫩綠嬌黃有金林檎玉
 李子越溪桃湘浦杏東都芍藥蜀都海棠有紅郁李白茶
 藤紫丁香黃蓋繡冠子樣牡丹耐戴的迎春此只是花更
 說那水有蘸色淺琉璃有粼粼光浮綠膩那一湖水造
 成酒便甜做飯便香作成醋便酸洗衣裳瑩白這湖中
 出來之物 菱甜 藕脆 蓮嫩 魚鮮
 那菱窰的待詔取得這水去堆青疊綠冷別是一般鮮明
 那染坊博士取得這水去陰裳陽紅冷別是一般嬌豔這
 湖中何啻有千百隻畫舫往來似箭縱橫小艇如梭便是
 扇面上畫出來的兩句詩云

井上泰山『六十家小説』刻字考（『関西大学文学論集』53-3, 2004；のち、井上泰山『中国近世戯曲小説論集』（吹田：関西大学出版部, 2004）所収

（一）偏や冠を省略した略字、（二）俗字・異体字、（三）簡体と繁体の併用、に分類。

「こうした状況を作品ごとに綿密に調査することによって、作品の成立過程に関する何らかの事情を明らかにするためのヒントが得られるかも知れない」

佐藤晴彦「元明期の文字表記：〈個〉の出現をめぐって」（『神戸外大論叢』51-6, 2000）

（引用者補：古くから用いられていた「箇」や「个」に対して、）筆者がここまで〈個〉の普及時期にこだわるのはそれなりの理由がある。小論で考察したように、もし〈個〉が使われだしたのが明代の成化年間前後で、その普及が明の萬曆頃だとしよう。だとすると、その他の資料で出版時期が明確でない資料、もしくは出版時期がある程度わかっている、出版された時に果たして手が加えられたか否かが、こうした用字法を根拠として判断できるということになる。

例えば『清平山堂話本』（『六十家小説』）は話本のうちでもやや古いものを残していると思われるが、問題は洪楹が嘉靖年間に出版した時、果たして手を加えたかどうか。そうした問題に対し、主観的な感じ方という角度からではなく、客観的な判断をするための根拠を提供できるであろうということである。

表 4 「你」「此」「兩」「処」

	你	你	此	此	兩	兩	兩	処	處	處	處
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

A類

2簡帖和尚	59		7		25		2		9		
7李翠蓮	3	83	7			20				1	6
10張子房	6	4	2			8					4
11陰騰積善		8	8			2				1	8
12陳巡檢		24	27			8				3	3
13紅蓮記		25	18			11					5
14刎頸鴛鴦	15	2	18*			22					9
15楊温		78	13			27					8

B類

1江樓記	1		5		6			2		1	
4合同文字記	28		2		6	6	1				3
6藍橋記			7								1

C類

3三塔記	21		12	1	6	1		1	14		
9風月相思			18		5		1		4		

D類

5風月瑞仙亭	11		17	10	3					3	
8三怪記	19		3	4	10		1			12	1

参考:「雨窗欹枕集」

16花燈轎	51		24		22				12	2	
17錯勘賊記	22		6		9				1	2	
18錯認屍	90		36		34				5	4	
19遇仙伝	31*		41		7					2	
20戒指児		41	20		16			1	7		
21羊角			21		1						10
22范張			15		2						3
23老馮			18		6				3		
24李廣世			14		4						
25姚卞	4		21		4				1	4	
26蕭琛		2	35		3						6
27李元		5	34		9				1	12	

表5 井上泰山氏のあげる文字

	画	面	多	夢	婆	婁	麼	広	無	死	觀	觀	觀	觀
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

A類

2簡帖和尚	27	4	14	12	1	10								1
7李翠蓮	16	21	44	9	26				1	1				
10張子房	2	4			17					1				
11陰騰積善	4	2		1	6									
12陳巡檢	12	13	1		20						4			
13紅蓮記	5	5			8	1								
14勿頸鴛鴦	1	5	2	1	15									1
15楊温	11	9	2	3	25						3			

B類

1江樓記	1	6			6						1			
4合同文字記		3	12		11									
6藍橋記	2				6									

C類

3三塔記	7	4	2	2	6	37			2		4		4	4
9風月相思		4	9					37			4		4	2

D類

5風月瑞仙亭	1	3	2					17		1				
8三怪記	8*	1*	5	3	17	27	2	6	2	5	1			

参考:「雨窗欹枕集」

16花燈轎	5	11	46	6	22					3				
17錯勘賊記	2	3	1		11									
18錯認屍	8	6*	4	6	29	4				1				
19遇仙伝	2	2	10		21									
20戒指児	4		7	10	22					5				
21羊角		1	1		3							1	1	
22范張	2		1		7				1					
23老馮	3	1	1		12							1		
24李廣世	2	3	3		8								2	
25姚卞	5		1		15								6	
26蕭琛	18		6		18								4	
27李元	4		4		7				1			3	4	

表6 “li” と “ge”

	裏	里	裡	裡	箇	个	個
--	---	---	---	---	---	---	---

A類

2簡帖和尚			52				64
7李翠蓮	2	3	5				39
10張子房	1		2				4
11陰騰積善		2					16
12陳巡檢		5	1				19
13紅蓮記		6	3				34
14勿頸鴛鴦	5	2					31
15楊温	1	34			1		69

B類

1江樓記		2				10	1
4合同文字記			5		3		8
6藍橋記	1						

C類

3三塔記	2	9			11	18	
9風月相思	1		2				

D類

5風月瑞仙亭		3				2	
8三怪記	7	17	1		32		

参考：「雨窗欹枕集」

16花燈轎		9	11		51		
17錯勘賊記		4	2		6		9
18錯認屍		6	37		12	41	
19遇仙伝	1		1		7		
20戒指児		2	12			45	
21羊角							
22范張						1	
23老馮					1		
24李廣世					1		
25姚卞	1	3			1	3	
26蕭琛	2				1	2	
27李元		1			1	4	

計	24	108	134	0	130	400	18
---	----	-----	-----	---	-----	-----	----

表7 佐藤晴彦氏の五つの指標

	番	翻	根	跟	荒	慌	叫	交	教	元	來	原	來
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

A類

2簡帖和尚	1		1		1					25			
7李翠蓮	1		1				4			19	7		
10張子房													1
11陰騰積善									1				
12陳巡檢	1		1	1	1	1				9			2
13紅蓮記					2					2			1
14勿頸鴛鴦						1				3			1
15楊温	1			1						19	1		3

B類

1江樓記	1												1
4合同文字記									1				
6藍橋記													

C類

3三塔記		1								15			1
9風月相思													

D類

5風月瑞仙亭		1	1			1							
8三怪記			1		2					5			3

参考：「雨窗欹枕集」

16花燈轆	1				4					17			2
17錯勘賊記	2									5			2
18錯認屍	1	1		1	1	1				34	1		1
19遇仙伝	1					2				6		1	1
20戒指児	1				6					4			
21羊角			1	1	1								
22范張					1					1			
23老馮					1								
24李廣世					1								
25姚卞	1	1			4								
26蕭琛	2				2								
27李元					5								2

計	14	4	6	8	29	10	165	9	1	15			7
---	----	---	---	---	----	----	-----	---	---	----	--	--	---

表8 清平山堂刊本版式一覧表

	版心		行款	版匡		
	堂名	魚尾		高	寛	辺欄
唐詩紀事	無	無	10行20字	19.0	13.4	四周单边
新編分類夷堅志	清平山堂	無	10行20字	19.1	13.0	左右双边
六臣注文選	無	無	10行18字			四周双边

表9 『宝文堂書目』著録との対応

宝文堂書目	清平山堂所刊小説	
洛陽三怪	08洛陽三怪記	D類
簡帖和尚	02簡帖和尚	A類
(隔三葉)		
柳耆卿記	01柳耆卿詩酒翫江楼記	B類
(隔一葉半)		
李元吳江救朱蛇	27李元吳江救朱蛇	敬枕集
合同文字記	04合同文字記	B類
范張雞黍死生交	22死生交范張雞黍	敬枕集
羊角哀鬼戰荆軻	21羊角哀死戰荆軻	敬枕集
雪川蕭琛貶霸王	26雪川蕭琛貶霸王	敬枕集
楊温攔路虎傳	15楊温攔路虎伝	A類
勿鷄鴛鴦會	14勿頸鴛鴦会	A類
馮唐直諫漢武帝	23老馮唐直諫漢武帝	敬枕集
李廣世號將軍	24漢李廣世号飛將軍	敬枕集
風月相思	09風月相思	C類
快嘴李翠蓮	07快嘴李翠蓮記	A類
藍橋記	06藍橋記	B類
張子房慕道	10張子房慕道記	A類
西湖三塔記	03西湖三塔記	C類
風月瑞仙亭	05風月瑞仙亭	D類
(隔一葉半)		
夔關姚下吊諸葛	25夔關姚下吊諸葛	敬枕集
(隔三葉)		
隨航集 十種		
(隔一葉)		
五戒禪師私紅蓮	13五戒禪師私紅蓮記	A類
陰隲積善	11陰隲積善	A類
陳巡檢梅嶺失妻	12陳巡檢梅嶺失妻記	A類

伊原大策「『水滸伝』語彙計量分析試論：語彙・語法史研究におけるパソコン応用の試み」(『筑波中国
文化論叢』10, 1991)

小松謙・高野陽子「『水滸伝』成立考：語彙とテクニカル・タームからのアプローチ」
(『中国文学報』65, 2002)

上田望「『三国演義』の言葉と文体：中国古典小説への計量的アプローチ」
(『金沢大学文学部論集 言語・文学編』25, 2005)